

就労支援に関するアンケート（B型）

事業所情報

① 事業所が提供しているサービスの種類

| | | | | | |
|------|--------------------------------------|----|------|---------------------------------|---|
| 日中系： | <input type="checkbox"/> 就労定着支援事業所 | 1 | 夜間系： | <input type="checkbox"/> 共同生活援助 | 6 |
| | <input type="checkbox"/> 就労移行支援事業所 | 2 | | <input type="checkbox"/> 施設入所 | 2 |
| | <input type="checkbox"/> 就労継続支援A型 | 0 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 就労継続支援B型事業所 | 24 | | | |



② 「日常的に」利用者様に関する情報共有を図っている関係機関はどこですか？（複数回答可）

| 相支援事業所 | 回数 | 情報共有している機関 |
|-----------------|----|------------|
| 医療機関 | 8 | |
| 障がい者就業・生活支援センター | 5 | |
| ハローワーク | 1 | |
| 家族 | 13 | |
| 基幹センター | 5 | |
| その他 | 3 | |
| 計 | 49 | |

③ 上記②の質問でお答えいただいた関係機関との情報共有をするにあたり、どのような形で連携を取っていますか？

- ① 迎えに来られた際に対面で。
- ② 病状等の共有や自宅等での生活及び変化等。また、事業所での状況・状態や変化などを細目に連絡し状態の安定などに努めています。
- ③ 面談時必要時は計画相談にも同席していただいている。

④ 「一般企業に就職」を目指す為に訓練の場として貴事業所を利用する際どのような点に配慮していますか？

- ① 集団行動などを通して決まり事等きちんと守るようになる。
- ② 利用者が能力が発揮できるように心がけている。
- ③ 素直な心と愛嬌が持てるようにルールや時間が守れる様に。
- ④ 時間を守る挨拶がきちんとできる。等に気を付け報告・連絡・相談が出来るように配慮しています。
- ⑤ 目指したい就職の仕方や職歴に応じた訓練となっているか。
- ⑥ 他機関と連携しその人に必要な情報収集を行い就職するために必要な能力を目指す。
- ⑦ 作業能力を養うとともに利用者同士のコミュニケーションを重点的に接することができるように支援をしている。
- ⑧ B型なのでまずは週2～3回、もしくは週1回から開始し徐々に毎日出勤できるように、時間日数を増やしています。その方の得意・不得意を評価しながら目標を聞きそれに向けた介入を行います。
- ⑨ 過去はB型から就職もあるが、現在は就職目指せそうな方はいても、ご本人意向により（就職に）繋がらない。
- ⑩ 日々の行動が伴っているのかの確認と振り返りを行うことで理想的な生活リズムへ修正していく。
- ⑪ 並行して職安への求職者登録等進め、準備が整い次第スムーズに就職活動が行えるようにする。
- ⑫ 必要な方には就労後のフォローアップが出来るようにナカボツにも繋いでおく。
- ⑬ 現在B型利用者で一般就労を希望されている方はいないが、そのような場合は移行職員に引き継ぐ。
- ⑭ 自分の得意とする分野を見つけられるように色々な訓練作業を提供し、苦手なことを無理に克服するのではなく、得意を伸ばせるように配慮している。

- ⑮ モチベーションの高め方）・社会人としてのマナー習得（あいさつ等）
- ⑯ 多機能で就労移行を行っているため、基本的に就労に向けての支援は行っていない。
- ⑰ 目標設定や条件付け（利用の継続、体調の安定、作業能力の向上等）などを行っている。
- ⑱ 自己にて考えて仕事ができる様に支援する事に配慮しています。
- ⑲ 利用者様に関わるスタッフは心身の状態、生活状況の把握など利用者様を理解することから始め、
- ⑳ それぞれの無理のない個別支援を意識している
- ㉑ 利用者様の希望に沿っていろいろな作業に参加できるようにしている。
- ㉒ 障害者本人のニーズを踏まえた上で、一般就労の実現に向けて適切なサービス等が提供されるよう、
- ㉓ アセスメント(ニーズの把握と就労能力や適正の評価)を作成し、就労の機会の提供及び生活活動の機会の提供、
- ㉔ その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、その他の必要な支援を行うよう配慮する。

⑤ 障がい福祉サービス利用者の方でステップアップを目指す為に（B型→A型・B型→一般就労）等訓練の場として事業所を利用する時にどのような配慮を行っていますか？

- ① 特になし
- ② 日々の活動ので出来る作業を伸ばせるように心がけています。
- ③ 通所に安定して通えるように時間調整をしながらそこからステップアップしていきます。
- ④ 仕事に対する意欲向上に向けて配慮している。
- ⑤ 作業ミスは仕方ないのでミスした時は正直報告すること。
- ⑥ 次のステップに何が必要か前のステップから何を引き継ぐか。
- ⑦ 社会生活上でのルール。欠勤せず出勤すること。ゆっくりも確実に作業を行う。
- ⑧ 作業の正確性や速度の向上、情緒の安定に向けて。
- ⑨ 報告がきちんとできているか確認する。
- ⑩ 自動車部品の加工作業を主に作業の正確性や持続力の向上など支援を行う。
- ⑪ 前項との差異が分かりにくいので同じ回答をお願いします
- ⑫ 以前希望された方はB型から就労移行へサービス変更を行い、移行職員に引き継いでいる。
- ⑬ 自分の得意とする仕事で企業とのマッチングができるように各関係機関にお願いしてマッチングの協力をお願いするとともに、万が一一定着に失敗しても帰れる場所としての事業所であることを伝え、何度でも再訓練を行い再チャレンジができるように配慮したい。
- ⑭ 様々な作業を行い、本人が望んでいる仕事実際に適性しているのか確認している。
- ⑮ 興味がありそうな利用者さんについては、企業内での作業などに参加して頂いている程度
- ⑯ 困った事があれば自己発信して解決できる様に定期的に声掛けや会議などを行う事に配慮しています。
- ⑰ まずは①生活リズムを整える②決められた開始時間や勤務時間に作業を行うようにする③目標に対する達成状況を意識させる。又、どれをするにしても成功体験を重ねることが自信につながると考えている為、個々に合わせた課題を設けている。
- ⑱ 同法人にもう1つB型事業所があり希望があれば進めている。
- ⑲ コミュニケーション能力を高める配慮を行って支援している。

⑥ 利用者の要望や相談はどのようなものがありますか？

- ① 利用者との人間関係。プライベートでの相談（家族・恋愛）
- ② 利用日数を増やしたい。他利用者への不満・A型・一般就労へのステップアップ。
- ③ 短時間から利用していずれは1日通所してステップアップしたい理由があります。
- ④ 利用者の相談ではないが、GHの利用者が現在一般就労されている方が体力的な問題でB型利用希望相談はある。

就労支援に関するアンケート（B型）

- ⑨A型・B型と一般就労がどれくらい労力的に違うのかについて。
- ⑩人間関係・コロナによる不安・不満。
- ⑫受給者証更新等の手続きについて
- ⑬就Aなどへのステップアップについて
- ⑭もっと高い工賃が欲しい。施設外で働きたい。
- ⑮農福連携を希望されている様子だが、「自宅から出勤できる場所あるのか?」、「車の免許がなくて大丈夫か?」「人間関係ご心配」「0人で大丈夫か不安」等の相談があり

⑦利用者の就労意欲・作業欲を保つために取り組んだ事例や解決に繋がった事例等あったら教えてください。

- ①一緒に興味のある企業を見つけて見学会を企画実行した。
- ②毎年の工賃判定。モニタリングでの振り返りと目標設定・能力の把握とスキルアップの支援。
- ③まだ、事例はありません。ただ、仕事や作業は辛いものではなく、やりがいを感じたり向上したりする楽しいものだと感じられるように支援していきたいと思えます。
- ④作業を頂けそうな企業に営業を行っている。
- ⑤特別支援学校より依頼のあった就職学習会（事業所での仕事のことや普段の生活のこの話を聞き、質問を通して卒業後の仕事や生活についての見通しがもてるようにする。というもの）に利用者が講師として参加し、利用者と一緒に発表資料を作成、プレゼンテーションを行いそれをサポートした。利用者本人の今後の就労意欲向上に繋がった。
- ⑥工賃アップに向けて条件の見直しや新しい作業を導入しました
- ⑦とにかく成功体験を重ねること。例としては精神的に不安定な方は休みがちになる為、無理をさせるわけではなく少しの時間でも勤務してみてもどうか?という声かけやお話を繰り返したりと寄り添うことで出勤を促す。出勤をした後は成果という認識を強くさせること。
- ⑧各作業の工賃を明確にして参加したことのない作業の声掛けを行う。
- ⑩利用者と興味のある企業をインターネットで検索して調べ、「自分が何をしたいか」を一緒に考えた。
- ⑪事業で作った製品を卸している店舗の見学。コーヒーの味比べを行った後に座談会のような話し合い。
- ⑫施設外就労では利用者の高齢化も懸念されています。若い世代の方に移行していただけるよに努める。
- ⑬A型へのステップアップを考えている利用者と一緒にワークショップに参加し、後日A型事業所と繋がった。
- ⑭就労意欲を高めるため作業の選択制を導入している。
- ⑮就労意欲を高めるため月1回気分転嫁を兼ねた行事を実施している。
- ⑯皆勤手当をつけてから利用日が増えてきました。
- ⑰職員と一緒に運転の練習をすることで運転の勘を取り戻すことが出来た。

⑧就労部会を設置したのち、就労に関する勉強会や研修会等企画して欲しい内容などありますか？

①私たちは、以前に比べると事業所の外に目を向けて活動するようになってきたと感じますが、同業他社と比較する機会が少ないです。事業所紹介や見学などの方法もありますが、中立的な立場で様々な事業所と関わりのあるナカポツや相談支援事業所などの機関からの見た「地域の実情」や「求められるもの」など客観的なお話を聴きたいです。

一般企業で求められる福祉的人材

工賃アップをテーマに、地方地域における成功事例

他の事業所がどのような作業を行なっているのかなどを知れば良いと考えています。

社会資源の活用した成功例。失敗例のケース。多職種連携にて社会資源を創出したケース。

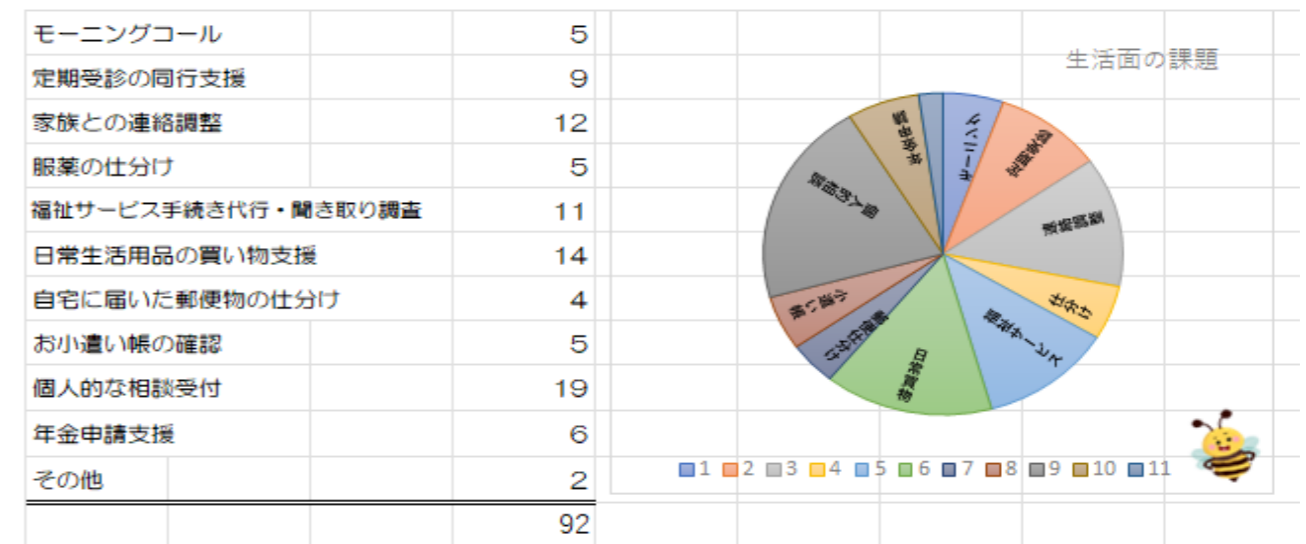
STEPUP等A型や一般就労の情報が欲しいです。

各事業所での工夫している取り組みなど教えてほしい。

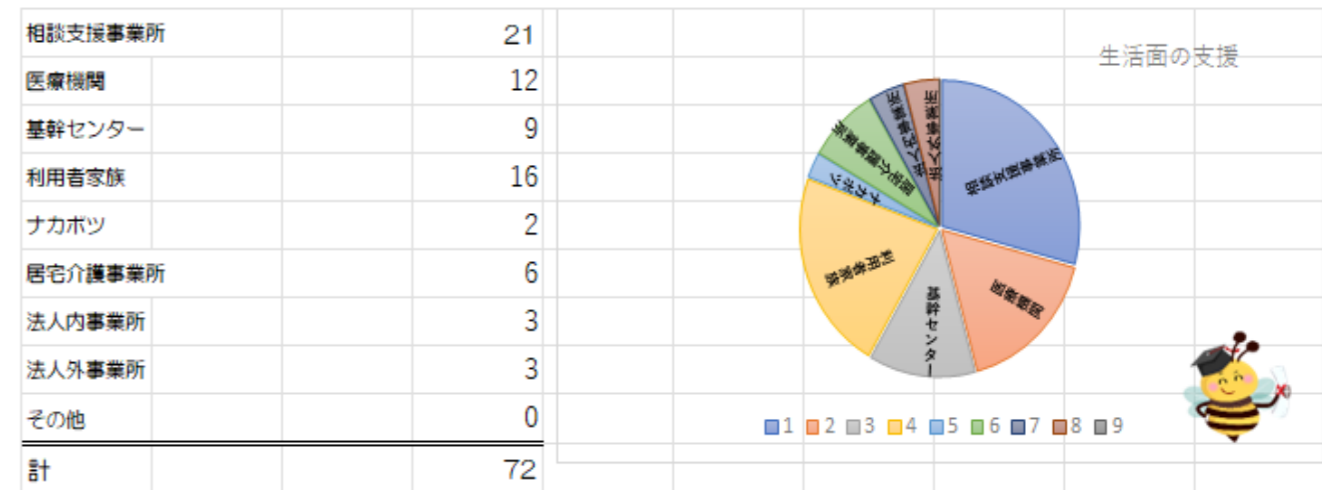
対応力が身につく研修会（それぞれの特性にあわせた）

生活面の課題について

⑨仕事以外の「生活面における支援」の中で利用者からの要望として取り組まれていることなどありましたら教えてください。



⑩生活面における支援にする際事業所として対応困難な場合どの機関に相談していますか？



就労支援に関するアンケート（B型）

◎当事者の方が飯塚圏域において就労サービスを利用し、生活を営んでいく上で「こんなことができればいいのに・・・」「こんな仕組みがあったらいいのに・・・」と感じたことがありますか？その課題に対してどのような仕組みがあれば解決につながると考えますか？自由意見として教えてください。

- ①プライベートの時間を持って余している方が多いと感じます。週末の休みや作業時間以降に他の利用者と交流できる場（スポーツ大会）などあればと思います。
- ②利用者・支援者が共に安心して過ごすことができるように、単身生活者や
- ③GHでも 身寄りのない方への病中・病後の支援の必要性を切に感じる。
- ④グループLine等を利用することで、新規作業の紹介であったり、製品販売の宣伝であったり、もちろん今回のような企画の告知でもいいですし、需要があれば横のつながりが太くなるかなと思いますし、タイムリーな情報を得やすくなるメリットがあると考えます。
- ⑤企業とのマッチング。営業がなかなか身にならないので。
- ⑥困難事例の利用者に対しての協力依頼に迅速に対応できる仕組み
- ⑦今現在、一般就労で活躍されてる方の情報が、どのように入手できるか知りたい
- ⑧一人暮らしの高齢者や困っている方で行政では仕組み上、行うことが出来ないサービスの提供ができればと考えています。例）例えば、一人暮らしの老人宅での話し相手・訪問
- ⑨ヘルパーの方ができない生活の場以外の掃除や片付け等

⑩飯塚圏域障がい者自立支援ネットワーク就労部会について、一緒に就労支援について考えていただける方下記にチェックをお願いします。

- | | |
|-----------|----|
| ①参加できます。 | 9 |
| ②参加できません。 | 14 |
| ③どちらでもない | 2 |